

施策評価管理シート

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進	担当部局名	部局長名
	施策	1	生涯学習	教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 施策の基本方針 Plan

○ 市民一人ひとりが自らの資質の向上や学習を通して多様な交流を広げ、心かよう地域社会の進展のために、生涯学習のまちづくりを進めます。

○ 生涯学習活動を進めるための情報提供や、学び続けることのできる環境の整備を進めるとともに、身に付けた知識や経験を社会で生かすことのできる仕組みづくりに取り組みます。

2. 現状と課題 Plan

○ 市民一人ひとりの個性やライフサイクル・ライフスタイルが大きく変化してきていることから、学習に対するニーズも多様化しており、主体的な学習活動が行えるよう、生涯学習情報の収集・発信と学習ニーズを把握し、多様な生涯学習機会の提供が求められています。

○ 高等教育機関との連携を一層強化し、生涯学習の進展、地域課題の解消に取り組む必要があります。

○ 近年、全国的に読書離れが進んでいると言われていますが、図書館を拠点とした読書に興味を持つイベントの開催や、図書資料の収集・整備をさらに推進する必要があります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合（％）	目標	-	-	-	46.0	
	成果	44.5	45.1			40.0%
市民センター等における家庭教育講座の講座数（講座【延べ数】）	目標	-	-	-	90	
	成果	75	84			60.0%
市民一人あたりの年間図書貸出冊数（冊）	目標	-	-	-	7.0	
	成果	6.7	6.5			0.0%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
・各地域の市民センターが、引き続き身近な生涯学習の場としての役割を果たせるよう、「名張市の地域における生涯学習推進に関する指針」に基づき、指導・支援に取り組みます。 ・高等教育機関の公開講座との連携などに取り組み、生涯学習機能の向上につなげます。 ・引き続き、図書館資料を通じて市民が必要とする情報を提供し、図書館サービスの充実に努めます。	・各地域の市民センターと協働して「地域で学ぼう・地域から学ぼう」をテーマに、名張の歴史・文化についての学習機会を提供（7回・受講者62名）したほか、関係機関と連携して家庭教育講座を開催するなど、生涯学習活動の支援・充実に取り組みました。 ・皇學館大学と連携してふるさと講座を2回開催し、受講者は163名でした。 ・図書館の入館者数、貸出冊数、貸出件数は前年度を下回りましたが、市民一人当たりの貸出冊数は6.5冊と引き続き県下でも比較的高い水準にあります。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

・平成28年度より公民館を市民センターに移行しましたが、引き続き各地域の市民センターを生涯学習活動の拠点と位置づけ、市民が主体的に生涯学習活動を行えるよう、学習ニーズの把握や情報の収集・発信を幅広く行うとともに、多様な学習機会の提供が求められています。

・皇學館大学をはじめとする高等教育機関との連携をさらに強化し、生涯学習の推進、地域課題の解決に向けた取組が必要です。

・全国的に読書離れが進むなか、図書館を拠点とした読書に興味を持つイベントの開催や調査・相談業務の充実、図書資料の収集・整備等を推進するとともに、「第2次名張市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校・家庭や地域と連携して、子どもたちが本に親しみ、読書に興味を持てる環境整備に引き続き取り組む必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

・すべての地域において、市民が生涯にわたって元気に、豊かで生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、「名張市の地域における生涯学習推進に関する指針」に掲げた「まなぶ」「つどい」「むすぶ」の3つの視点から、多様な学習機会の提供や学びを通じた地域コミュニティの活性化に取り組みます。

・市民がふるさと「なばり」への愛着と誇りをもつことができるよう、高等教育機関等との連携をさらに密にして、「なばりカレッジ」や「ふるさと講座」等、史跡・文化財・伝承行事などの郷土資源を活用した事業を推進します。

・限られた財源を有効に活用し、図書館資料を通じて市民が必要とする情報を提供するとともに、カウンター業務等を委託している民間事業者と協働して図書館サービスの向上を図り、市民の多様な学習意欲に応えられる図書館サービスを展開します。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

図書館運営について、多様な年代の市民が利用されるよう効果的な運営手法を検討すること。